※『ペットロボット』はココロの登録商標です。

KOKORO NEWS

ココロニュース　NO.60　2003. 5

恐竜王国中里の恐竜センターが生まれ変わった！
リニューアルオープン、そして神流町恐竜センターへ

神流町（かんなまち）恐竜センター（群馬県）

名誉顧問の小畠郁生博士も加わり、リニューアルオープンのテープカットが行われました。
（向かって右から２人目）小畠郁生博士、（右から６人目）小林一夫村長

中里村恐竜センターは町村合併に伴い、４月１日から
神流町（かんなまち）恐竜センターと名称を変更し、新たなスタートをきりました。

式典では小林一夫村長より感謝状を授与されました。

村の小・中学生を招いて行われたプレミア上演も大変好評で、感心したり驚いたりといった感想をいただきました。

群馬県中里村は恐竜の足跡、そして恐竜の化石が発見された数少ない日本の恐竜産地「恐竜王国中里」として広く知られています。このたび、その中里村にある恐竜センターが新生リニューアルオープンを迎えました。

このリニューアルにおいては「総合的な学習の時間」対応施設として館全体を見直すエデュケーショナルプロジェクトを起案し、楽しく、わかりやすい展示を目標に大きく改善を行いました。弊社はこのプロジェクトの立案時から、館の顧問である小畠郁生博士、松川正樹博士にご指導いただきながら、個性的で学習効果の高い展示の実現に向けてお手伝いさせていただきました。

そのメイン展示となるのが迫力満点のライブシアター『よみがえる恐竜たち』です。幅広い世代に対し興味を喚起させるため大胆にエンターテイメント性を取り入れたこのシアターは、案内役である人体型ロボット「博士」の解説に従い、次々に恐竜ロボットが現れダイナミックなドラマを繰り広げる、かつてない恐竜ロボットシアターです。

３月20日のグランドオープン、そして前日に行われた式典には中里村長を始め多くの関係者、村民が集まり、村をあげて生まれ変わった恐竜センターを華々しく祝いました。

kokoro DREAMS
© KOKORO CO.,LTD.

スペース・コミュニケーション、夢のある空間演出をめざして
Tel:042-530-3939/Fax:042-530-4050
株式会社ココロ　〒205-8556 東京都羽村市神明台4丁目9番1号　Tel:042-530-3911㈹

動刻営業部
http://www.kokoro-dreams.co.jp/

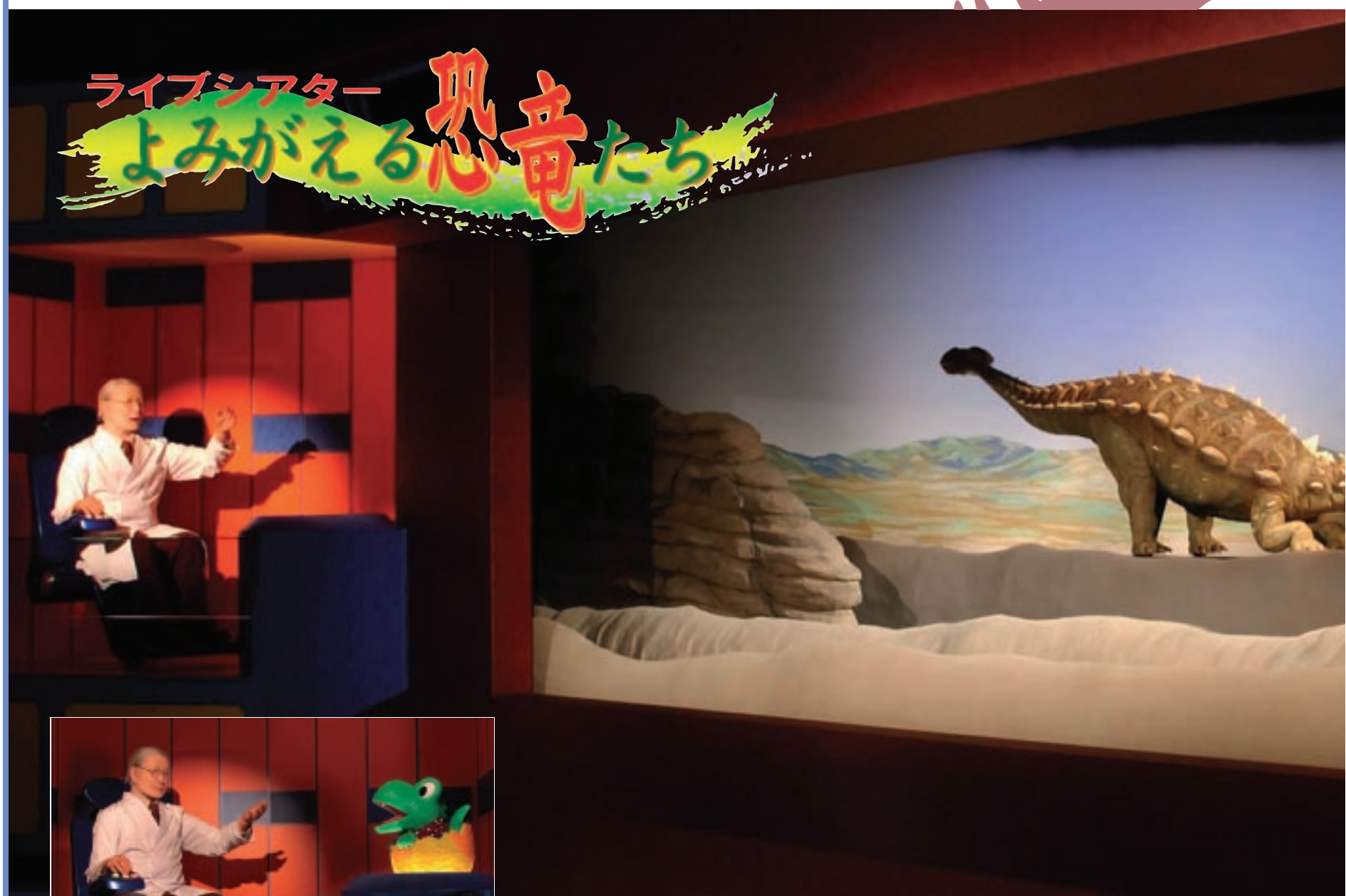
エデュケーショナルプロジェクトで生まれ変わった恐竜センターのメイン展示　ライブシアター『よみがえる恐竜たち』ではつぎつぎに登場する恐竜たちが太古のドラマを繰り広げるという施設の特性を活かした個性的なシアターを実現しました

8000万年前のモンゴルを舞台に、ステージ上につぎつぎに現れてはドラマを演じる恐竜たち。迫力と多様性を兼ね備えたかつてない恐竜シアターがこのライブシアター『よみがえる恐竜たち』です。

登場する恐竜は、世界的にも有名な「格闘化石」のヴェロキラプトルとプロトケラトプス、巨大な肉食恐竜タルボサウルスなど、恐竜センターに骨格化石が展示されている恐竜たち、つまり恐竜センターの化石がよみがえったというオリジナリティ溢れる恐竜シアターなのです。

その基本理念は、恐竜たちの驚きの生態、そして舞台であるモンゴルと恐竜センターが恐竜の道でつながっていることをわかりやすく解説することにあります。世代を超え、恐竜を詳しく知らない方でも楽しめかつわかりやすい展示手法として、このロボットシアターが選ばれました。

傍らの研究室にいる人体型ロボットの博士が物語りの案内役と大画面映像による情報とあわせての解説を行います。恐竜センターのマスコットキャラクター「サウルス君」も登場して観客と共に恐竜時代を冒険します。大迫力の雷鳴やあっと驚く舞台装置のイリュージョンも満載、驚きの15分の旅へ、さあ出かけましょう。



物語の案内役「博士」とマスコットキャラクター「サウルス君」。サウルス君が冒険の中で感じた疑問に博士が答えるという形でストーリーは進行します。

恐竜が托卵をした、という仮説を大胆に取り入れたのもこのライブシアターならでは。奇抜な恐竜の習性は必見です。

雄大なモンゴルの風景を映し出す大画面映像は、物語の進行に従ってビジュアルデータを表示し、理解を促します。

リニューアルを支える理念、エデュケーショナルプロジェクトとは？

エデュケーショナルプロジェクトは、平成14年から学校教育で実施されている「総合的な学習の時間」に対応した整備を目標にしたものです。恐竜センターの個性である、山中「地溝帯」とモンゴルの貴重な化石展示、そして化石発掘やレプリカ実習など体験的学習プログラムを最大限に活かしつつ、不足する部分を補う意味でより楽しく、わかりやすくするための整備やアミューズメント展示の導入を計画しました。合わせてキャプションの刷新や総合図録やワークブックの発行など、来館者へ提供する情報も充実させています。

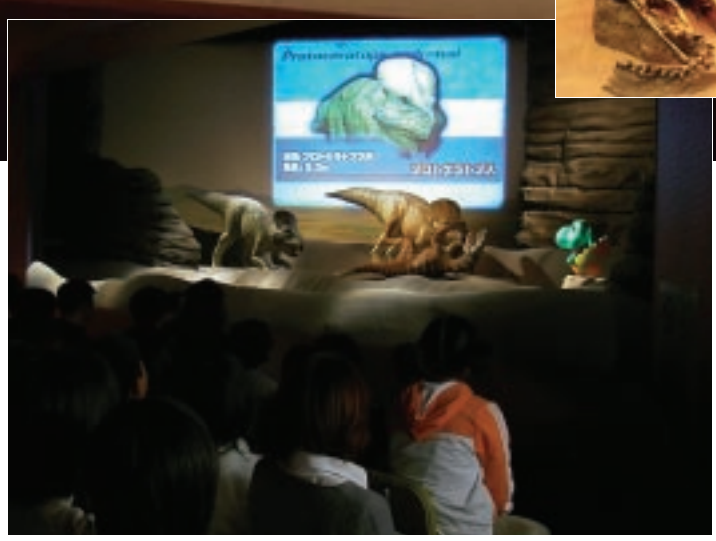
監修の先生方からメッセージをいただきました

新設のパネル展示では、ふるさとの歴史を探りつつ多くの地質学的原理を知る。ライブシアターでのストーリー展開は近年の研究成果を編集したもの。動刻と映像、光と音が連動して、おそらく世界で初のすばらしい創作。

国立科学博物館名誉館員　小畠郁生

ここまで再現できたのか。恐竜センターで展示されている恐竜の骨格に命が吹き込まれ、彼の日々の行動や生活の様子が見えてきた。科学研究とロボット工学の成果がもたらした新しい展示の仕方である。過去の自然がさらに見えてきた。

東京学芸大学　松川正樹



有名な「格闘化石」が展示されているのも、ここ恐竜センターの魅力のひとつ。シアターで演じられる壮絶な格闘シーンに客席も息をのみます。

■詳しくは下記へお問い合わせ下さい■

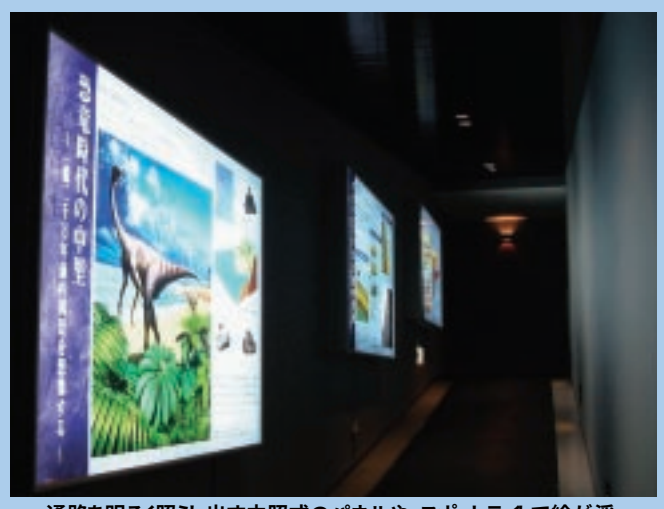
神流町恐竜センター　TEL 0274-58-2829

群馬県多野郡神流町大字神ヶ原51-2

http://www.dino-nakasato.org/

そのほかのリニューアルポイント

■グラフィック解説パネル

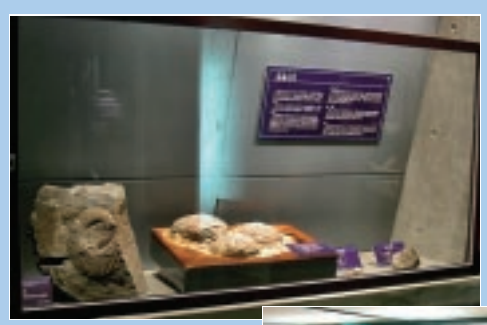


通路を明るく照らし出す内照式のパネルや、スポットライトで絵が浮き出る特殊なグラフィックなど、環境のイメージアップ効果も兼ねたユニークな解説パネルを増設しました。

■サインの増設

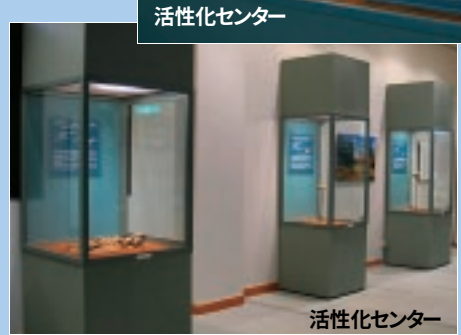
施設全体の導線を整理して展示ゾーンを明確にするために、ゾーンタイトルや導線案内サインを充実させました。

■展示キャプションの刷新



恐竜センター本館

活性化センター



活性化センター

■新ガイドブック

すべての展示物を網羅した総合ガイドブックと、「総合的な学習の時間」のカリキュラムの一環として役に立つ子供用の学習ワークブックも発行しています。

恐竜の骨格図を入れるなど情報量を大幅にアップ。白文字なので照明の影や反射があっても文字が読みやすくなりました。ベースの色には施設の既存カラーリングを多用することで、展示室内の統一感を強調する効果も狙いました。

台湾の主要都市を巡回
「巨大昆虫生態教育博覧会」開催スタート
台北→桃園→高雄→台中

台湾のテレビ局「中天電視」などの中国時報系（グループ）や教育機関及び揆衆展覧事業有限公司のバックアップにより実現したこの企画は、ココロの「巨大昆虫」シリーズをメインに美しい標本、生きている昆虫の展示、又お子様が楽しめる遊戯コーナーなどで構成されています。

この企画展は台北市を皮切りに約半年かけて台湾の主要都市で巡回開催されます。

台北市の総合デパート「ニューヨーク・ニューヨーク」においては長蛇の列ができて、どの巨大昆虫のまわりも大勢の人だかりと歓声で賑わっており、人気の高さを物語っていました。

巡回スケジュール

台北市
紐約紐約展覧購買中心
～2003.2.23（終了）
桃園市
桃園県立巨蛋体育館
2003.2.28～2003.3.16(終了)
高雄市
工商展覧館
2003.3.21～2003.4.20(終了)
台中市
世界貿易展覧中心
2003.4.25～2003.5.18

巨大イモムシ

演出されたディスプレイはより昆虫たちを引き立たせ、効果を高めていました。

不気味に足を振りかざして威嚇する巨大タランチュラに来場者も驚いていました。

巨大昆虫の周りは大勢の人、人気振りがうかがわれます。

中國時報

界世蟲蟲
動動想夢

本イベント開催は当地でも大変な話題となり、報道関連でも大きく取り上げておりました。

飛び跳ねると最高約2ｍまで高くなるバッタと弊社の高橋社長やカマを振りかざし威嚇するカマキリ、ヤゴからトンボに羽化する変化を表した展示などが写真入りで掲載されました。（2003年１月17日付・中國時報）

巨大恐竜はいったいどんな生きもの？
開館10周年を迎えて
「巨大恐竜の七ふしぎ」特別企画展開催
ユネスコ村大恐竜探検館（埼玉県所沢市）

ユネスコ村大恐竜探検館は今年12月に開館10年目を迎えます。館では日頃のご愛顧に感謝し、特別展を開催しています。(2月8日より6月2日まで)

人間の何十倍もの体をもつ巨大恐竜はいったいどんな生き物だったのか？

化石でしかその存在を知ることができない恐竜たちは、沢山の謎を私たちに残しました。

この企画展では、“なぜ？どうして？不思議！”を「七つのふしぎ」ゾーンで構成しました。それぞれのゾーンでは「ふしぎ」を解き明かしながらも一緒に考えたり参加性を加えて体感させるなど子供たちが楽しんで“恐竜”に興味をいだけるような構成になっています。　ココロは、企画から設置まで参加、協力させていただきました。

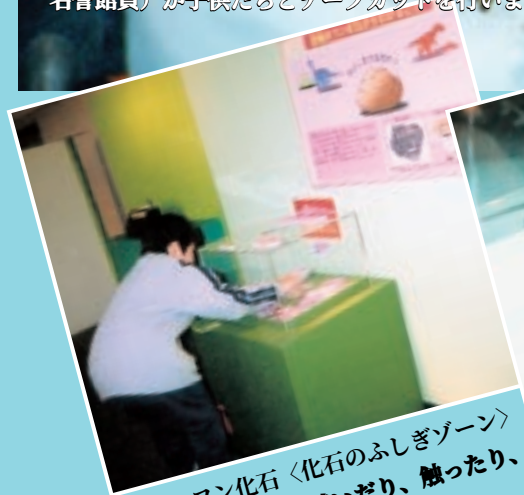
ここでの一番人気は「巨大肉食恐竜と小型肉食恐竜の狩りの技くらべ」でティラノサウルス（実寸大の頭）とヴェロキラプトルの動刻が、それぞれの狩りの技をしゃべり合うというユニークなゾーンです。

また、恐竜の糞化石に触って証明書がもらえたり、本物の化石を発掘するハンズオンなど子供たちに人気のコーナーが賑わっています。

６月２日までの開催です。ぜひご覧下さい。

ユネスコ村大恐竜探検館
ホームページ
＝http://www.seibu-group.co.jp/rec/unesco/

オープニングセレモニーで、小畠先生（国立科学博物館名誉館員）が子供たちとテープカットを行いました。


恐竜のフン化石〈化石のふしぎゾーン〉
フン化石の匂いを嗅いだり、触ったり、フンの謎に迫ります。タッチ証明書がもらえます。

化石発掘ラボ〈化石のふしぎゾーン〉
ハンマーとノミを使って本物の化石を掘り出します。

実寸大恐竜の足跡
〈恐竜の足跡の秘密ゾーン〉
いくつもの巨大な足跡が出現！実際に歩いて、大きさや歩幅を体験できます。

鳴き声がわかる！〈ハンズオンコーナー〉
U字構造のトサカをもつパラサウロロフスの鳴き声は同じ構造の管楽器の音と似ていると思われます。実際に空気を送って音を聞いてみます。

レンタル新作情報

乗りものどうぶつ

ゾウ、カバ、サイの人気動物が可愛らしい乗りものどうぶつで加わりました。当社はかつて大型の乗りもの恐竜や動物など製作しましたが、今回製作したものは小さいお子様サイズになっています。また、軟らかな素材で仕上げた外装はソフトでリアル感が楽しめます。

この３体はさっそく羽村市動物公園で活躍中です。

「ゾウ」動き／体の上下
鳴き声有り

「カバ」動き／体の上下
鳴き声有り

「サイ」動き／体の上下
鳴き声有り

KOKORO SHOP-ROBOT NEWS

ポンポンパック2＋わくわくカプセル2

“ポンポンパック2”〈ハローキティタイプ〉とカプセルベンダーを組み合わせ、売場内の什器と組み合わせることにより、スペースの合理的な利用と売場構成のバラエティを豊富にしました。さらに楽しさも倍増させるなど、売上アップに貢献いたします。

株式会社マイカル　北千里サティ

わくわくカプセル2

ココロのオリジナル商品が続々登場！

大きな前面キャプションで中身商品をアピール！
スリムで安全！

※(株)ユージン機種使用例

ポンポンパック2とわくわくカプセル2組み合わせ設置例

予告　ココロオリジナル商品　わくわくカプセル商品情報　続々登場

2003年4月発売
みんなと一緒にゴーゴーゴー
キャラクターが揺れながら、乗り物が走ります。
キャラクターは脱着可能です。
キティの乗っている乗り物だけがゼンマイで動きます。全5種類です。

2003年5月発売予定
キャラクターお手玉
手の平サイズのお手玉です。果物の形のキャラクターがカワイイです。全５種類です。

2003年4月発売
トランクケースコレクション
キャラクターは全部で4種類。トランクのタイプは2種類。合計8種類の展開になります。ラメ入りのトランクに2個のトレーが付いていてシールが入っています。

2003年8月発売予定
お菓子小物入れシリーズ
ケーキの形をしたおいしそうな小物入れ。
キャラクターのついたとってもカワイイ５種類です。

KOKORO SHOP-ROBOT NEWS

超スリムでコンパクト

●売場の什器サイズに合わせました。
効率良く設置スペースを確保出来ます。

エンターテイメント性を加えて出来上がりまで楽しさを持続

●ハローキティのおしゃべりと音楽でお出迎え。
●調理中はハローキティが腰をゆらしてかわいいダンシング。
●調理中にハンドルを回すとおなべの中のポップコーンがポンポンはじけます。

ハローキティの可愛いおしゃべりと音楽で呼び込み効果ＵＰ

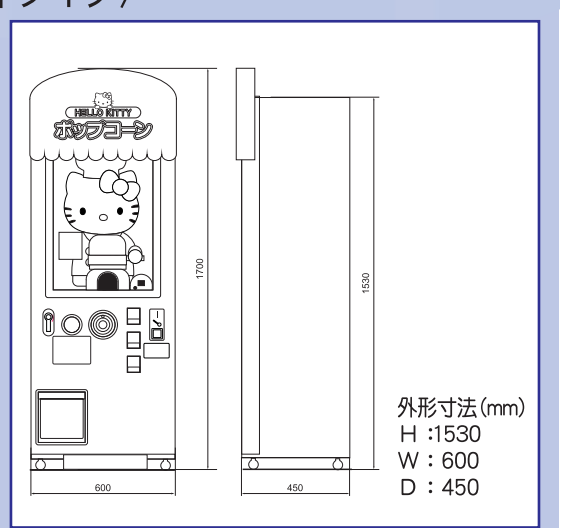
コックさん姿のハローキティを中心にした明るいディスプレイでアイキャッチ効果UP

“ポンポンパック２”〈ハローキティタイプ〉

新しい角底式の袋は持ちやすく置いてもＯＫ

袋は味別に３種類のカラーを用意しました。

袋の内容量は、32グラムです。



外形寸法(mm)
H :1530
W : 600
D : 450

KOKORO NEWS

ココロニュース〈SR〉 NO.60 2003. 5

特許出願中

驚異の小型化 遂に実現！

ココロでは、当社独自の発想で、商品の販売と合わせ“楽しさ”も売る自動販売機を開発し、販売してまいりました。特にポップコーン自動販売機は事業展開開始以来、大きな販売実績を上げています。

ポップコーン自動販売機として業界初の“袋型”対応の販売機の開発を進めて来ました。これを“ポンポンパック”と名付け、現在300台を全国で展開中です。

このたび、お客様の要望をさらに盛り込み“ポンポンパック2”を完成させ、登場させました。

“ポンポンパック2”は外装形状をシンプルに、内部機械構造を簡素化して誕生した“究極の小型ポップコーン自動販売機”です。“自動販売機の小型化と低価格化”を両立させ実現しました。

kokoro DREAMS
© KOKORO CO.,LTD.

アミューズメントスペースを創出する
Tel:042-530-3910/Fax:042-530-1715
株式会社ココロ 〒205-8556 東京都羽村市神明台4丁目9番1号 Tel:042-530-3911㈹
SR営業部
http://www.kokoro-dreams.co.jp/